

カテゴリー	銘柄名	ファンドの特色	委託会社
新興国株式	チャイナ脱炭素イノベーション株式ファンド	主として、脱炭素関連ビジネスを行なう中国企業および同ビジネスの恩恵を受ける中国企業の株式に投資を行います。	日興アセットマネジメント
	次世代通信関連 アジア株式戦略ファンド	アジア次世代通信関連企業の株式に投資を行います。主要投資対象ファンドにおける投資銘柄は、アジア次世代通信関連企業の中から技術・サービスの先進性に着目し、ファンダメンタルズ分析を通じて、成長性や株価の割安度を検証したうえで選定します。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	UBS中国新時代株式ファンド(年1回決算型)	中国企業の株式を実質的な主要投資対象とします。構造的な成長が期待されるセクターの中で、相対的に高い競争優位性を有する企業を選別し、投資を行います。	UBSアセット・マネジメント
	深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)	中国のシリコンバレーとして知られる深センに着目し、イノベーション企業の成長を積極的に捉えます。深セン証券取引所上場の人民元建て中国本土株(中国A株)を主要投資対象とします。	日興アセットマネジメント
	ベトナム成長株インカムファンド	成長性の高いベトナム株式に投資を行います。ベトナムの取引所に上場する株式ならびに世界各国、地域の取引所に上場するベトナム関連企業の株式に投資します。	キャピタル アセットマネジメント
	新生・UTIインドファンド	主として、インドの金融商品取引所に上場している株式を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。実質的な運用はインド国内大手の運用会社であるUTIグループが運用します。	新生インベストメント・マネジメント
	中国株 AI運用ファンド	上海・深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資を行い、託財産の成長を図ることを目指します。UBPインベストメント・マネジメント(上海)リミテッドが独自に開発したAI(人工知能)モデルを活用した運用を行います。	SOMPOアセットマネジメント
	アジア・ヘルスケア株式ファンド	中長期的に高い成長が見込まれる、アジア(日本を除く)のヘルスケア関連株式などを主要投資対象とします。医薬品メーカーに限らず、医療用機器やバイオテクノロジー、医療施設などの幅広い分野の企業を投資対象とします。	日興アセットマネジメント
	三井住友・インド・中国株オープン	インドおよび中国の取引所に上場している株式に投資し、信託財産の成長を目指します。インド株と中国株の実質投資割合は、概ね同程度とします。	三井住友DSアセットマネジメント
	ベトナム株式ファンド	主としてベトナムの取引所に上場している株式、および世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム企業の株式等に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。銘柄選定にあたっては、成長性、財務健全性および流動性等に配慮し、厳選投資します。	三井住友DSアセットマネジメント
	東京海上・東南アジア株式ファンド	東南アジア諸国連合(アセアン)加盟国の取引所に上場されている株式(これらに準ずるものを含みます。)等に投資を行います。	東京海上アセットマネジメント
	高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	インドの中型株を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。インドの代表的な総合金融グループの一つである「コック・マヘンドラ」グループが実質的な運用を行います。	三井住友DSアセットマネジメント
	三井住友・ニュー・アジア・ファンド	主としてフロンティア地域を含む東南・南アジア各国の取引所に上場している株式および当該地域において事業活動を行う企業の株式等に投資します。投資対象ファンドの運用は、現地の株式運用に強みをもつUOB-SMアセットマネジメント、三井住友DSアセットマネジメントおよびUOBアセットマネジメントが行います。	三井住友DSアセットマネジメント
先進国株式	グローバル・サステナブル・サービス関連株式ファンド	日本を含む世界の株式等の中から、サブスクリプション型ビジネスを行なう企業の株式等に投資します。運用にあたっては、テーマイクス・アセット・マネジメントから助言を受けます。	大和アセットマネジメント
	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)	マザーファンドを通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本としたアクティブ運用を行います。運用の一部は、アライアンス・バースタインのグループ会社に委託します。S&P500株価指数(配当金込み)をベンチマークとします。	アライアンス・バースタイン
	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	マザーファンドを通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本としたアクティブ運用を行います。運用の一部は、アライアンス・バースタインのグループ会社に委託します。S&P500株価指数(配当金込み)をベンチマークとします。	アライアンス・バースタイン
	グローバル創薬関連株式ファンド	主として、革新的な技術力で医療分野に新たな可能性を生み出していく世界の創薬関連企業の株式に投資を行います。実質的な運用は、カンダリアム・インベスターズ・グループのカンダリアム・ベルギー・エス・エーが行います。	三井住友DSアセットマネジメント
	WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)	日本を含む世界の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。参入障壁の持続可能性、企業文化、構造的成長力、バリュエーションなどに基づき、ボトムアップ・アプローチを通じて銘柄を厳選のうえ、30〜50銘柄程度に集中投資します。株式等の運用指示に関する権限をWCMインベストメント・マネジメント・エルエルシー(WCM社)へ委託します。	朝日ライフ アセットマネジメント
	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	主にテクノロジーの発展による恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	主にテクノロジーの発展による恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
	GS フェチャー・テクノロジー・リーダーズ Aコース(限定為替ヘッジ)	日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、主としてテクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、将来のリーダーになると期待される企業の株式に投資します。投資対象には中小型株式および新興国株式も含まれます。	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
	GS フェチャー・テクノロジー・リーダーズ Bコース(為替ヘッジなし)	日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、主としてテクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、将来のリーダーになると期待される企業の株式に投資します。投資対象には中小型株式および新興国株式も含まれます。	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	長期的視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。外国投資法人の運用は、ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドが行います。	三菱UFJ国際投信
	脱炭素関連 世界株式戦略ファンド(資産成長型)	世界の脱炭素関連企業(温室効果ガスの排出量の削減、吸収及び除去等への貢献が期待される事業を営む企業をいいます)の株式に投資を行います。主要投資対象ファンドにおける投資銘柄は、脱炭素関連企業の中から、ファンダメンタルズ分析を通じて、成長性や株価の割安度を検証したうえで選定します。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	世界スタートアップ&イノベーション株式ファンド	世界のスタートアップ&イノベーション企業の株式に投資を行います。ファンドにおいて「スタートアップ&イノベーション企業」の株式とは、中小型株式のうち、原則として新規株式公開(IPO)後10年以内で、人々の生活を変革すると考えられる製品・サービスの提供を通じて高い成長が期待できる企業の株式をいいます。ただし、IPO後10年を経過した企業の株式にも投資を行うことがあります。主要投資対象ファンドの実質的な運用は、BNY Mellon グループのメロン・インベストメント・コーポレーションが行います。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期的視点から成長が期待される世界各国の企業の株式等に投資を行います。外国投資法人の運用は、ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドが行います。	三菱UFJ国際投信
	グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)	主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式に投資を行います。個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。	日興アセットマネジメント
	UBSグローバルDX株式ファンド(資産成長型)	BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が運用する「グローバル中小型成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」(以下「主要投資対象ファンド」)への投資を通じて、主として日本を含む世界の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます)しているスタートアップ&イノベーション企業の株式(DR(預託証券)を含みます)に投資します。ファンドにおいて「スタートアップ&イノベーション企業」の株式とは、中小型株式のうち、原則として新規株式公開(IPO)後10年以内で、人々の生活を変革すると考えられる製品・サービスの提供を通じて高い成長が期待できる企業の株式をいいます。ただし、IPO後10年を経過した企業の株式にも投資を行うことがあります。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	グローバルDX関連株式ファンド(資産成長型)	世界の取引所に上場している株式の中から、主としてデジタル技術を活用し革新的なビジネスをもたらすDX(デジタル・トランスフォーメーション)関連企業の株式に投資を行います。実質的な運用は、リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループが行います。	三井住友DSアセットマネジメント
	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	世界の次世代通信関連企業の株式に投資を行います。主要投資対象ファンドにおける投資銘柄は、次世代通信関連企業の中から、ファンダメンタルズ分析を通じて、成長性や株価の割安度を検証したうえで選定します。実質的な運用はニューバーガー・バーマン・グループの運用会社であるニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーが行います。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	主として日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行います。株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユー・エス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。	三菱UFJ国際投信
	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	主として日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行います。株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユー・エス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。	三菱UFJ国際投信
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	自動運転技術の進化・普及により、業績拡大が期待される世界の企業の株式に投資します。実質的な運用は、リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループが行います。	三井住友DSアセットマネジメント	
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	自動運転技術の進化・普及により、業績拡大が期待される世界の企業の株式に投資します。実質的な運用は、リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループが行います。原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。	三井住友DSアセットマネジメント	
AI(人工知能)活用型世界株ファンド	主として、日本を除く世界の株式に実質的に投資を行います。アセットマネジメントOneが独自に開発したディープラーニングモデルを用いて、相対的に投資魅力度が高いと判断される銘柄を抽出します。モデルの解析結果に、ファンドマネジャーの判断によりニュースフロー等のテキスト解析や個別企業のファンダメンタルズ分析を融合させ、ポートフォリオを構築します。	アセットマネジメントOne	
グローバルAIファンド	世界的の上場株式の中から、AI(人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCが実質的な運用を行います。	三井住友DSアセットマネジメント	
グローバルAIファンド(為替ヘッジあり)	世界的の上場株式の中から、AI(人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCが実質的な運用を行います。原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。	三井住友DSアセットマネジメント	
グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行います。銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。	日興アセットマネジメント	
グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり/1年決算型)	世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行います。銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。	日興アセットマネジメント	
ビクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型)為替ヘッジなしコース	主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資します。	ビクテ投信投資顧問	
ビクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型)円コース	主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資します。原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。	ビクテ投信投資顧問	
JPMグローバル医療関連株式ファンド	世界の医療関連企業の株式に主として投資します。	JPMエルガン・アセット・マネジメント	
ビクテ・セキュリティ・ファンド(為替ヘッジなし)	主に世界のセキュリティ関連企業の株式に投資します。	ビクテ投信投資顧問	
マニライフ・米国銀行株式ファンド	主として米国の銀行・金融機関の株式に投資を行います。マニライフ・インベストメント・マネジメント(US)LLCが運用を担当します。	マニライフ・インベストメント・マネジメント	
アメリカン・ドリーム・ファンド	米国小型成長株式に投資を行います。RSインベストメントが実質的な運用を行います。	新生インベストメント・マネジメント	
楽天・ポジティブ・インパクト株式ファンド	日本を含む世界各国(新興国を含みます)の株式を主要投資対象とします。UBPの「ポジティブ・インパクト戦略」により、主として社会をポジティブに変える事業を生業としている企業の株式に投資します。	楽天投信投資顧問	
海外高配当株式	LM・オーストラリア高配当株ファンド(年2回決算型)	オーストラリアの株式市場に上場している高配当株等に投資します。運用はフランクリン・テンブルトン・グループのレグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドが行います。	フランクリン・テンブルトン・ジャパン
	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(1年決算型)	主に世界の高配当利回りの公益株に投資します。特定の銘柄や国に集中せず、分散投資します。	ビクテ投信投資顧問
	三菱UFJ 米国配当成長株ファンド<為替ヘッジなし>	原則として、S&P500配当貴族指数構成銘柄について、指数構成比率に応じて投資を行います。米国配当成長株マザーファンドにおける株式等の運用にあたっては、UBSアセット・マネジメント(UK)リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。	三菱UFJ国際投信
	三菱UFJ 米国配当成長株ファンド<為替アクティブヘッジ>	原則として、S&P500配当貴族指数構成銘柄について、指数構成比率に応じて投資を行います。米国配当成長株マザーファンドにおける株式等の運用にあたっては、UBSアセット・マネジメント(UK)リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。また、<為替アクティブヘッジ>はシフトグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。為替変動や市場全体のリスクの高まり、金利変動等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。	三菱UFJ国際投信
	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(成長型)	主として世界のビュア・インフラ企業が発行する上場株式などに実質的に投資します。「ビュア・インフラ企業」とは、インフラ関連企業の中でもインフラ資産を実際に所有する、もしくは、運営するビジネスで収益の多くを獲得する企業を指します。実質的な運用は全部または一部をAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託します。	アセットマネジメントOne

※上記一覧は2022年1月4日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。

カテゴリー	銘柄名	ファンドの特色	委託会社
海外 REIT	新光 US-REIT オープン(年1回決算型)	主として米国の取引所上場および店頭市場登録の不動産投資信託証券に分散投資を行い、市場平均よりも高い水準の配当収益の確保と長期的な値上がり益の獲得を目指します。実質的な運用指図に関する権限を、インベスコ・アドバイザーズ・インクに委託します。	アセットマネジメントOne
	アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	主として、日本を除くアジア各国・地域(オセアニアを含みます。)の取引所に上場している不動産投資信託(リート)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。	三井住友DSアセットマネジメント
	NN欧州リート・ファンド(資産形成コース/為替ヘッジなし)	欧州のリートを実質的な主要投資対象とします。主要投資対象とする投資信託証券の運用は、NNインベストメント・パートナーズ B.V.が行います。	NNインベストメント・パートナーズ
	NN欧州リート・ファンド(資産形成コース/為替ヘッジあり)	欧州のリートを実質的な主要投資対象とします。主要投資対象とする投資信託証券の運用は、NNインベストメント・パートナーズ B.V.が行います。原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。	NNインベストメント・パートナーズ
	ラサール・グローバルREITファンド(1年決算型)	世界各国の上場不動産投資(REIT)を中心に投資を行ない、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得しつつ、中長期的な信託財産の成長を目指します。	日興アセットマネジメント
	バインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・マザーファンド	バインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所に上場されている(これに準ずるものを含みます。)テクノロジー・インフラに関するREITおよび株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目指します。マザーファンドの運用にあたっては、センタースクエア・インベストメント・マネジメント・エルエルシーに運用に関する権限の一部を委託します。	バインブリッジ・インベストメンツ
バインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・マザーファンド<為替ヘッジあり>	バインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所に上場されている(これに準ずるものを含みます。)テクノロジー・インフラに関するREITおよび株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目指します。マザーファンドの運用にあたっては、センタースクエア・インベストメント・マネジメント・エルエルシーに運用に関する権限の一部を委託します。実質組入るの外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	バインブリッジ・インベストメンツ	
国内株式	ビッグデータ活用 日本中小型株式ファンド	主として、わが国の中小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目的として、積極的な運用を行います。ビッグデータの活用による投資テーマ選定とボトムアップアプローチによる銘柄選択を組み合わせ、ポートフォリオを構築します。運用にあたっては、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社の助言を活用します。	アセットマネジメントOne
	日本中小型成長株発掘ファンド	日本の取引所に上場している株式(TOPIX100採用銘柄を除きます。)のうち、中小型株に投資します。中小型株の中から、チャレンジ精神やベンチャー精神のある企業、競争力のある製品・サービスを展開する企業、新市場創出を目指す企業に着目します。	三井住友DSアセットマネジメント
	Oneフレキシブル戦略日本株ファンド	ビッグデータの活用とボトムアップアプローチによる分析等とを組み合わせて、投資テーマと組入銘柄の候補を選定します。投資環境の変化に応じて、大型株や中小型株の配分比率等、最適と判断される投資スタイルにて最終的な投資テーマおよび組入銘柄を決定します。運用にあたっては、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社の助言を活用します。	アセットマネジメントOne
	ニッセイJPIX日経400アクティブファンド	中長期的観点からJPIX日経インデックス400(配当込み)を上回る投資成果の獲得をめざし運用を行います。JPIX日経インデックス400構成銘柄に限定することなく、同指数に採用が見込まれる銘柄も投資対象とします。徹底した調査・分析を通じて、優れた経営効率と利益成長力を持ち、株価の上昇が期待される銘柄に厳選して投資します。	ニッセイアセットマネジメント
	女性活力日本株ファンド	日本の新たな成長戦略の中核と位置づけられる「女性の活躍」をテーマに、中長期的に投資魅力が高いと判断される銘柄に実質的に投資します。	BNY Mellon インベストメント・マネジメント・ジャパン
国内株式	日興-インデックスファンド225	日経平均株価(225種・東証)の動きに連動する投資成果を目指します。	日興アセットマネジメント
	野村サ-ビス関連株ファンド	わが国のおもてなし関連企業の株式を実質的な主要投資対象とします。おもてなし関連企業の選定にあたっては、小売業や百貨店・コンビニ、レジャー・旅行、運輸、食料品等のテーマを中心として、サービスや製品を通じて高い顧客満足度を提供する企業に着目します。ポートフォリオの構築にあたっては、おもてなし関連企業の中から、競争力および業績動向、バリュエーション等を勘案して組入銘柄および組入比率を決定します。	野村アセットマネジメント
	野村サ-ビス関連株ファンド(米ドルコース)	わが国のおもてなし関連企業の株式を実質的な主要投資対象とします。おもてなし関連企業の選定にあたっては、小売業や百貨店・コンビニ、レジャー・旅行、運輸、食料品等のテーマを中心として、サービスや製品を通じて高い顧客満足度を提供する企業に着目します。ポートフォリオの構築にあたっては、おもてなし関連企業の中から、競争力および業績動向、バリュエーション等を勘案して組入銘柄および組入比率を決定します。円建て資産については、選択権付き為替予約取引等の外国為替に関するデリバティブ取引を活用し、米ドルへの投資効果を追求します。	野村アセットマネジメント
	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	高齢化社会が生み出す新ビジネス、新技術あるいは様々なニーズ等をシルバー・ビジネスとしてとらえ、こうした分野に注目して事業を展開していく企業の株式を中心に投資し、信託財産の成長を目指します。高齢化社会における成長分野・成長企業等をリサーチします。	三井住友DSアセットマネジメント
	JPMジャパンマスター	全上場銘柄の中から、時価総額にこだわらず、成長性があり、かつ株価が割安と判断される銘柄を中心に選定して投資します。銘柄の選定は、運用チームが行う企業取材に基づくボトムアップ・アプローチ方式で行います。	JPMエルガン・アセット・マネジメント
	2.0 厳選日本株ファンド	主としてわが国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行います。ライフスタイルや経済構造の変化によっても顕在化する需要に着目し、それらの恩恵を受けると考えられる企業に投資を行います。運用にあたっては、独自の企業調査をもとに銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築します。	マニライフ・インベストメント・マネジメント
	DIAM J-REITオープン(1年決算コース)	東京証券取引所に上場し、東証REIT指数に採用されている(または採用予定の)J-REITを実質的な主要投資対象とします。中長期的に東証REIT指数(配当込み)を上回る投資成果を目指します。	アセットマネジメントOne
国内 REIT	J-REIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)	J-REITを主要投資対象とします。投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	HSBC中国人民元債券オープン(年2回決算型)	中国の債券等に投資します。主に中国の政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券等に投資します。主要投資対象ファンドの運用は、HSBCグローバル・アセット・マネジメント内の運用会社が行います。	HSBCアセットマネジメント
新興国債券	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	主として、インドの政府、政府機関、企業および国際機関等が発行するインドルピー建てもしくは米ドル建ての公益インフラ債券に投資を行います。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づき銘柄選択により、ポートフォリオを構築します。	イーストスプリング・インベストメンツ
	DWS グローバル公益債券ファンド(年1回決算型) Cコース(為替ヘッジあり)	DWSグローバル公益債券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資するファンドです。為替ヘッジに係る運用指図及びマザーファンドに係る運用指図に関する権限を、DWSインベストメントGmbHに委託します。原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	ドイチエ・アセット・マネジメント
先進国債券	DWS グローバル公益債券ファンド(年1回決算型) Dコース(為替ヘッジなし)	DWSグローバル公益債券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資するファンドです。マザーファンドに係る運用指図に関する権限を、DWSインベストメントGmbHに委託します。	ドイチエ・アセット・マネジメント
	バランス	PIMCO ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)	ビムコ・バイユー・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラス(JPY)バミューダ群円建て外国投資信託および日本マネー・マザーファンドへの投資を通じて、世界各国(新興国を含みます)の株式や債券(国債、政府機関債、社債、ハイ・イールド債券、モーゲージ債、物価連動債など)、通貨、商品および不動産関連の証券等の幅広い資産(デリバティブを含みます)に投資を行います。ポートフォリオの構築にあたっては、景気見通し、各資産のバリュエーション、資産間の相関などを考慮し、機動的な資産配分を行います。
GW7つの卵		世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行います。そして、効率的な資産配分を考えます。7つの資産は、それぞれの分野に強みをもつスペシャリストが運用します。資産配分および運用アプローチの決定は、日興グローバルラップ(日興GW)の助言をもとに日興アセットマネジメントが行います。	日興アセットマネジメント
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)		世界の幅広い債券等のうち、主として米ドル建ての債券および債券関連派生商品等に投資し、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。債券運用において高い専門性を有するPIMCOグループのノウハウを活用します。原則として純資産総額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、対円での為替変動リスクの低減を図ります。	三井住友DSアセットマネジメント
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)		世界の幅広い債券等のうち、主として米ドル建ての債券および債券関連派生商品等に投資し、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。債券運用において高い専門性を有するPIMCOグループのノウハウを活用します。	三井住友DSアセットマネジメント
アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド(年2回決算型)		長期にわたり優れた運用実績があるファースト・イーグル・グローバル・ファンドと同じ運用手法のファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドへ主に投資します。主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。	アムンディ・ジャパン
アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド(年2回決算型/為替ヘッジあり)		長期にわたり優れた運用実績があるファースト・イーグル・グローバル・ファンドと同じ運用手法のファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドへ主に投資します。主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。原則として米ドル売り/円買いの為替ヘッジを行うことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	アムンディ・ジャパン
インベスコ プレミア・プラス・ファンド		日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資します。債券、株式、資源資産3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。実質外貨建資産については、実質的に為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	インベスコ・アセット・マネジメント
ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド		様々なアセット・クラス(資産)へ分散投資し、ポートフォリオ効果を追求することで、リスクに対するリターンの向上を狙います。高い運用力と期待できる戦略を差別化分散投資します。市場環境に応じてアセット・クラスやその配分比率を機動的に変更します。株式や債券などの伝統的な投資とは異なる投資戦略、オルタナティブ戦略を採用する投資信託証券への投資も行い、更なる分散投資効果を追求します。ポートフォリオの一部は為替ヘッジを行うことにより、為替リスクの低減を図ることがあります。	ピクテ投資投資顧問
米国分散投資戦略ファンド(5倍コース)		米国の株式、債券および不動産投資信託(リート)ならびにコモディティ等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。外国投資信託証券の組入比率を高位に保ち、実質的に純資産総額の概ね5倍相当額の投資を行います。実質的な運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが行います。保有する外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。	三井住友DSアセットマネジメント
米国分散投資戦略ファンド(3倍コース)		米国の株式、債券および不動産投資信託(リート)ならびにコモディティ等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。外国投資信託証券の組入比率は信託財産の純資産総額の概ね60%とし、実質的に純資産総額の概ね3倍相当額の投資を行います。実質的な運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが行います。保有する外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。	三井住友DSアセットマネジメント
米国分散投資戦略ファンド(1倍コース)	米国の株式、債券および不動産投資信託(リート)ならびにコモディティ等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。外国投資信託証券の組入比率は信託財産の純資産総額の概ね20%とし、実質的に純資産総額と概ね同等額の投資を行います。実質的な運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが行います。保有する外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。	三井住友DSアセットマネジメント	
ヘッジ 外国債券	グローバル・アロケーション・オープン Aコース(年1回決算・為替ヘッジなし)	投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市場動向などを勘案して決定するものとし、アロケーション・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。アロケーション・ファンドへの投資に係る指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社委託します。	アセットマネジメントOne
	グローバル・アロケーション・オープン Cコース(年1回決算・限定為替ヘッジ)	投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市場動向などを勘案して決定するものとし、アロケーション・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。アロケーション・ファンドへの投資に係る指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社委託します。純資産総額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、対円での為替変動リスクの低減を図ります。	アセットマネジメントOne
国内債券	東京海上・ニッセイ世界債券ファンド(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	主として日系発行体の外貨建債券に投資します。先進3通貨圏の外貨建債券に投資を行い、対円で為替ヘッジします。	東京海上アセットマネジメント
	ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いません。	大和アセットマネジメント
金	ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり)	実質的に金に投資します。投資信託証券への投資を通じて、金の現物に投資し、米ドル建ての金価格の値動きを概ねとらえることを目指します。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	ピクテ投資投資顧問
	ピクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)	実質的に金に投資します。投資信託証券への投資を通じて、金の現物に投資し、金価格の値動きを概ねとらえることを目指します。	ピクテ投資投資顧問

※上記一覧は2022年1月4日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。

【NISA制度(NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA)に関するご留意事項】

- ・ NISA制度では、全ての金融機関を通じて、同一年において一人一口座に限り開設することができます。
- ・ NISA、つみたてNISAは、日本にお住まいの20歳以上の方が対象で、同一年において、NISAとつみたてNISAのいずれか一つを選択する必要があります。ジュニアNISAは、日本にお住まいの20歳未満の方が対象です。
- ・ NISA制度では、収益は全額非課税となり損失は税務上ないものとされ、特定口座や一般口座で保有する他の上場株式等の配当所得および譲渡所得等との損益通算はできません。
- ・ NISA制度で売却した場合の非課税投資枠の再利用はできません。また、非課税投資枠の未使用分を翌年以降に繰り越すことはできません。
- ・ 配当等は口座開設金融機関等経由で交付されたもの(株式数比例配分方式を選択されている場合)のみが非課税となります。
- ・ 特定口座や一般口座で保有している上場株式等を、NISA制度の口座への移管や異なる金融機関に保有しているNISA口座内の上場株式等の移管はできません。
- ・ NISA制度の口座における上場株式等を、他の金融機関のNISA制度の口座へ移管することはできません。
- ・ NISA制度の口座から払い出された非課税上場株式等の取得価額は払出日における時価となります。

【NISAのご留意事項】

- ・ NISAで購入できる金額(非課税投資枠)は年間120万円になります。

【つみたてNISAのご留意事項】

- ・ つみたてNISAで購入できる金額(非課税投資枠)は年間40万円になります。
- ・ つみたてNISAのご利用には、つみたてNISAに係る積立契約(累積投資契約)をお申し込みいただく必要があります。これに基づき、定期かつ継続的な方法による買い付けが行われます。
- ・ つみたてNISAは、ロールオーバー(20年の非課税期間満了時に翌年の非課税投資枠に繰り越すこと)ができません。
- ・ つみたてNISAでお買い付けいただいた投資信託について、原則として年1回、信託報酬等の概算値を通知いたします。
- ・ 法令により、つみたてNISAの累積投資勘定を設けた日から10年を経過した日および同日の翌日以後5年を経過した日ごとに、お客さまのお名前・ご住所について確認させていただきます。確認ができない場合は、新たにお買い付けされた金融商品をつみたてNISAへ受入れることができなくなります。
- ・ 東洋証券のつみたてNISA取扱商品はつみたてNISA専用投資信託のみでETFは取り扱いません。申込単位1万円以上1円単位となり、毎月定額買付のみの対応となります。(東洋証券での年間投資額は最大で399,996円となります。)

【ジュニアNISAのご留意事項】

- ・ ジュニアNISAで購入できる金額(非課税投資枠)は年間80万円になります。
- ・ ジュニアNISA口座開設後は、金融機関の変更ができません。(廃止後の再開設は可能です。)
- ・ 口座開設者が18歳(3月31日時点で18歳である年の前年12月末)になるまでに、ジュニアNISA口座から払い出しを行う場合は、災害等やむを得ない事情について税務署による確認を受けた場合を除き、過去の利益に対して課税され、ジュニアNISA口座を廃止することになります。
- ・ ジュニアNISAで運用される資金は、口座開設者本人に帰属する資金に限定されます。

※今後の法令・制度等の変更により、内容が変更される可能性があります。

【手数料等およびリスク】

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。  
また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・ 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

【積立投信に関するご留意事項】

- ・ 毎月の買付の際に、投資信託ごとに定められている手数料等がかかります。お客さまが指定された積立金額から手数料等を差引いた金額で投資信託を買付します。
- ・ 振替日において当社お客さま取引口座の残高が積立予定金額に満たない場合、当該月の買付は行いません。
- ・ 積立投信を複数の銘柄でお申込みいただいている場合、当社お客さま口座の残高が合計積立予定金額に満たない場合は、当該各銘柄のいずれかについても買付を行いません。
- ・ ご契約の際は、積立投信約款および各投資信託の交付目論見書や目論見書補完書面等を必ずご覧ください。
- ・ 投資信託がお客さまの投資方針に適さない場合やお客さまのご経験・知識等により、その取引をお受けできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【ご投資にあたってのご留意事項】

- ・ 東洋証券の約款・規定集をご確認ください。また、取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書等をご覧ください。

※上記一覧は2022年1月4日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。